

令和 7 年度総合馬術規程 主な改定箇所 (2025 年 4 月 1 日付施行予定)

令和 7 年 3 月 7 日
総合馬術本部

第 5 編 総合馬術競技 <抜粋>

第 520 条 出場要件 (JEF)

520.2 FEI 総合馬術競技に出場するための NF 要件

FEI 総合馬術競技 (CCI) に出場するには、人馬とも主催および／あるいは公認競技会において以下の最低出場要件 (MER) を満たしていなければならない (別途 FEI にて規程のない限り、コンビネーションでなくてもよい)。

CCI 1*-Intro	EV95 相当の競技において馬場馬術競技で減点 45 以下 (55%以上)、クロスカントリー競技で障害減点なし (フレンジブル障害の一度目の作動あるいは一度の旗間不通過は MER として認める)、障害馬術競技で障害減点 16 点以下。
CCI 2*-S	CCN ワンスター競技あるいは EV95 相当以上の競技において馬場馬術競技で減点 45 以下 (55%以上)、クロスカントリー競技で障害減点なし (フレンジブル障害の一度目の作動あるいは一度の旗間不通過は MER として認める) および規定タイム超過 75 秒以内、障害馬術競技で障害減点が 16 点以下。

第 524 条 馬のウェルフェア

524.3 馬の転倒 系統立てた聞き取り調査

クロスカントリーで馬の転倒があった場合は、その選手と競技場審判団 (審判長あるいはメンバー) および／または技術代表との間で系統立てた面談と協議を行わなければならない。

第 526 条 馬に対する虐待行為

526.1 定義

虐待行為とは次に挙げるいずれの行為をも含め、またこれに限定することなく馬に対して痛みや不必要な不快感を起こさせたり、起こすと思われる作為あるいは不作為をいう：

- 馬の肢たたき
- 過度に疲労している馬への騎乗
- 疲労している馬を追い続ける行為
- 明らかに跛行している馬への騎乗
- 鞭、銜および／または拍車の過剰使用
- 鞭および／または拍車の過剰使用を示唆する馬の横腹や背の出血
- 過剰な騎乗：馬への虐待行為であり、目に見える痕の有無に限定しない。
- 危険な騎乗の重大事例

第 527 条 記録付き警告 (総合馬術)、イエローカードおよび出場資格停止処分

2. 次のような違反があった場合はイエローカードが発行される：

- 過剰な鞭の使用すべて。上記に定める通り、あるいは一段と強い制裁措置として (第 526 条 2 に定める通り)
- その他馬への虐待行為
- 疲労している馬を追い続ける行為
- 過度に疲労している馬への騎乗については失格に加えて科される

第 538 条 服 装

538.3 クロスカントリー競技

クロスカントリー障害でのスクーリングを含め、この競技ではボディプロテクター※の常時着用が義務づけられている。

エアベストの使用は、これを推奨する。

乗馬靴には蹬から滑り抜けてしまわないように、明確な踵部がなければならない。

※2026年4月1日以降、主催および公認競技会においては、BETA Level3 2018、ASTM F1937-04、European standard EN13158-2018 のいずれかの認証を受けているボディプロテクターを着用することを義務付ける。バックガードの類は、ボディプロテクターとみなされない。(JEF)

第 539 条 馬装／服装

539.2 馬場馬術競技

539.2.2 許可馬具

- a) EV レベル、CCN レベル、国体総合馬術競技では、大勒頭絡の使用は認められない。(JEF)
- b) 付則 A で認められている通り、銜が金属、軟質ゴム、もしくはプラスチック製あるいは革素材製の水勒頭絡も許可される。水勒銜が認められるが、直径は 14mm 以上でなければならない。ポニーの場合は直径 10mm 以上とする。銜身の直径は銜身のリングあるいはチーク付近で測る。手綱は銜に装着しなければならない。
- c) 頭勒はすべて革製あるいは革様素材で造られていなければならないが、クロス鼻革の交差部位、頂部分、あるいは鼻革の下に使う小さい円盤状の柔らかい当て物は例外とする。
- d) 額革は必須であるが、項革に連結される部位を除き、革あるいは革様素材で作られている必要はない。
- e) 胸がいは使用しても良い。
- f) イヤーフードはすべての競技会にて使用が認められ、これにより雑音を軽減する効果も見込まれる。しかしながらイヤーフードは馬が耳を自由に動かすことができるものであり、馬の目を覆ってはならず、また耳栓は許可されない(馬場馬術規程第 428 条 7.2 表彰式については例外あり)。イヤーフードは控えめな色合いとデザインであること。イヤーフードを鼻革に装着することはできない。
- g) ノーズネットは許可される。
- h) マルタンガールストッパーは許可される。

許可される銜と鼻革の絵については、付則 A—馬装、および銜と鼻革の図表を参照のこと。競技によっては水勒頭絡だけを許可する場合がある。(JEF)

第 549 条 過失の定義

549.2 逃 避 - 標旗の非通過

- a) **通過 (減点 0)** : 標旗で限界が示された障害物の両端間を馬の頭と頸、両肩先が通過した場合、馬は障害物を通過したとみなされる。標旗が移動した場合は、馬の後躯が障害物の固形パーツを通過していなければならない。
- b) **標旗の非通過 (減点 15)** : 標旗で限界が示された障害物の両端間を馬のいずれかの肩先が通過し損ねた場合は、標旗の非通過とみなされる。標旗で限界が示された障害物の両端間を馬の頭頸が通過していなければならない。標旗が移動した場合は、馬の後躯が障害物の固形パーツの高さを超えて通過していなければならない。

- c) **逃避 (減点 20)** : 馬をコースに配置された障害物に向けたものの、馬がこれを避けてその頭、頸、どちらかの肩先が標旗で限界が示されていた障害物の両端間を通過し損ねた場合、あるいは馬の後躯が障害物の固形パーツを通過しなかった場合は、逃避とみなされる。再試行せずにコース走行を継続した場合は失権となる。

549.4 不従順後の再試行

拒止、逃避、あるいは巻乗りで減点となった後に再試行する場合、選手は当該障害物に馬を再び向かわせるまで減点されることなく 1 回あるいは複数回巻乗りすることができる。

数個のパーツで構成される障害では、いずれかの障害パーツで拒止、逃避、あるいは巻乗りが生じた場合、既に飛越した障害パーツを再飛越できる。ただしその前に障害パーツを減点なく飛越していても、この時に何らかの過失が生じれば減点される。

拒止、逃避、あるいは巻乗り後に障害パーツを再試行するため、高さのない障害物（ステップあるいは溝）の標旗間を反対方向から通過しても減点とならない。

2 馬場馬術競技で使用が許可される鼻革 (JEF)

下の描写は参照例にすぎず、第 539 条に準拠していれば、馬に対して同様な影響をもたらす類似した頭絡も許可される。

鼻革はすべて正しく装着しなければならず、きつく締めすぎて馬に不必要な不快感をもたらしてはならない。許容される鼻革の締め具合については、獣医規程第 1026 条 9 を適用する。(2025 年 5 月 1 日から発効) (JEF)

別表 競技会のカテゴリとレベル (502条) (1)

名 称	EV75	EV85	EV95	CCN1*
馬場馬術	総合馬術馬場 EV75 <u>2025</u>	総合馬術馬場 EV85 <u>2025</u>	総合馬術馬場 EV95 <u>2025</u>	FEI CCI1* <u>2025B</u>
クロスカントリー	早着減点あり	早着減点あり	早着減点あり	
全 長	1,500- 2,000m	1,800- 2,300m	2,000- 2,500m	2,000- 3,000m
最大速度	420mpm	450mpm	490mpm	500mpm
飛越数	14-20 個	16-22 個	18-24 個	20-25 個
高 さ				
固定障害	H75cm	H85cm	H95cm	H105cm
ブラッシュ	H95cm	H105cm	H115cm	H125cm
幅				
一番高い部分	W100cm	W105cm	W115cm	W120cm
土台	W115cm	W145cm	W165cm	W180cm
高さのない 障害	W140cm	W170cm	W200cm	W240cm
飛び降りの 高さ	H95cm	H110cm	H120cm	H140cm
障害飛越				
距 離	350- 400m	350- 400m	350- 400m	600m
最大速度	350mpm	350mpm	350mpm	350mpm
障害数 /最大飛越数	9-10 /11	9-10 /11	10-11 /12	10-11 /12
高 さ	H <u>85</u> cm	H <u>90</u> cm	H100cm	H110cm
幅 (一番高い部分)	W <u>100</u> cm	W <u>105</u> cm	W115cm	W125cm
三段	W <u>120</u> cm	W <u>125</u> cm	W135cm	W145cm

別表 競技会のカテゴリとレベル (502条) (2)

名 称	CCN2*-S	CCN2*-L	CCN3*-S	CCN3*-L
馬場馬術	FEI CCI2* 2025B	FEI CCI2* 2025B	FEI CCI3* 2025B	FEI CCI3* 2025B
クロスカントリー				
全 長	2,600- 3,120m	3,640- 4,680m	3,025- 3,575m	4,400- 5,500m
最大速度	520mpm	520mpm	550mpm	550mpm
飛越数	25-30 個	25-30 個	27-30 個	30-35 個
高 さ				
固定障害	H110cm	H110cm	H115cm	H115cm
ブラッシュ	H130cm	H130cm	H135cm	H135cm
幅				
一番高い部分	W140cm	W140cm	W160cm	W160cm
土台	W210cm	W210cm	W240cm	W240cm
高さのない 障害	W280cm	W280cm	W320cm	W320cm
飛び降りの 高さ	H160cm	H160cm	H180cm	H180cm
障害飛越				
距 離	600m	600m	600m	600m
最大速度	350mpm	350mpm	350mpm	350mpm
障害数 /最大飛越数	10-11 /13	10-11 /13	10-11 /14	10-11 /14
高 さ	H115cm	H115cm	H120cm	H120cm
幅 (一番高い部分)	W135cm	W135cm	W140cm	W140cm
三段	W155cm	W155cm	W160cm	W160cm

(障害馬術)

※ アリーナの広さが 2300 平方 m 未満はどのレベルでも 325mpm

※ アリーナの広さが 5000 平方 m 未満は★★★も 350mpm

(別表1)

馬場馬術課目および馬装・拍車基準

	馬場馬術課目名	満点	参考時間	大小 勒	水勒	拍車	審判 員数	馬場 サイズ
F E I 制 定 課 目	FEI グランプリ馬場馬術課目 2009 (2014年改定・2022年更新版)	460	6'30"	必	不	任意	3 ~ 5 名	20 m × 60 m
	FEI グランプリスペシャル馬場馬術課目 2009 (2014年改定・2022年更新版)	470	6'40"	須	可			
	FEI 自由演技グランプリ馬場馬術課目 1999 (2009年改定・2022年更新版)	400	5'30" ~6'00"					
	FEI インターメディエイトII馬場馬術課目 2009 (2022年更新版)	340	5'25"	可	可			
	FEI インターメディエイトI馬場馬術課目 2009 (2022年更新版)	340	5'30"					
	FEI 自由演技インターメディエイトI馬場馬術課目 1998 (2009年改定・2022年更新版)	400	4'30" ~5'00"					
	FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目 2009 (2022年更新版)	340	5'50"	可	可			
	FEI ヤングライダー個人競技馬場馬術課目 2009 (2022年更新版)	340	5'15"					
	FEI 自由演技ヤングライダー馬場馬術課目 2006 (2009年改定・2022年更新版)	400	4'30" ~5'00"					
	FEI ジュニアライダー個人競技馬場馬術課目 2009 (2022年更新版)	340	5'15"					
	FEI 自由演技ジュニアライダー馬場馬術課目 2006 (2009年改定・2022年更新版)	400	4'30" ~5'00"	可	可			
JEF 自由演技国体成年馬場馬術課目 (2022年更新版)	400	4'30" ~5'00"						
第5課目	JEF 馬場馬術競技 第5課目B 2022	310	5'30"					
	JEF 馬場馬術競技 第5課目A 2022	270	5'00"					
第4課目	JEF 馬場馬術競技 第4課目B 2022	250	4'45"					
	JEF 馬場馬術競技 第4課目A 2022	250	5'00"					
第3課目	JEF 馬場馬術競技 第3課目B 2022	240	4'45"					
	JEF 馬場馬術競技 第3課目A 2022	240	5'00"					
第2課目	JEF 馬場馬術競技 第2課目E 2022	200	3'45"					
	JEF 馬場馬術競技 第2課目D 2022	190	4'30"					
	JEF 馬場馬術競技 第2課目C 2022	160	4'00"					
	JEF 馬場馬術競技 第2課目B 2022	130	4'00"					
	JEF 馬場馬術競技 第2課目A 2022	130	3'30"					
第1課目	JEF 馬場馬術競技 第1課目 2022	130	3'45"					
総 合 馬 術	FEI 総合馬術競技3スター 2025 馬場馬術課目A	270	4'45"	不 可	必 須	任 意	3 名 以 内	20 m × 60 m
	FEI 総合馬術競技3スター 2025 馬場馬術課目B	230	4'45"					
	FEI 総合馬術競技2スター 2025 馬場馬術課目A	220	4'45"					
	FEI 総合馬術競技2スター 2025 馬場馬術課目B	220	5'00"					
	FEI 総合馬術競技1スター 2025 馬場馬術課目B	250	4'30"					
	JEF総合馬術馬場 Ev95 2025	230	4'30"					
	JEF総合馬術馬場 Ev85 2025	170	4'15"					
	JEF総合馬術馬場 Ev75 2025	150	4'30"					

* 上記課目を非公認競技会で実施する場合は、審判員数はこの限りではない